

# 緑の宝



2005  
夏号  
No.36



落ち着いた雰囲気となったモネの庭

## 目 次

緑に包まれた静岡空港建設について 静岡県空港部長 谷和実	P2	炎天下の育成管理巡回指導 我が社の自慢	P6~P7 P8~P9
第二十六回通常総会開催	P3	造園施工管理技士会だより 話題の森・編集後記	P10~P11 P12
会長表彰・受賞者紹介	P4		
浜名湖フラワーフェスタ 来年四月二十八日から三日間開催	P5		

## 緑に包まれた静岡空港建設について



静岡県空港部長 谷 和実

社団法人静岡県造園緑化協会の皆様には、静岡空港建設地の緑化や貴重種の移植等の自然環境保全対策に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

静岡県は、古くから我が国東西交通の要衝の地であり、これまで、東海道新幹線、東名高速道路などの高速交通網の整備により、陸上交通の利便性が高い地域として発展してきており、現在全国第十位の人口と県内総生産額を有しています。しかししながら、全国的に空港の整備が進み、航空交通の利便性が高まっている中で、国内遠隔地や海外への直接アクセスが可能となる空港がないため、県民の皆様や本県への来訪者が不便を強いられているなど、大変便利といわれた本県は、立地上の優位性を失いつつあります。

このため、本県の優位性を高め、産業の立地、雇用の拡大、観光の振興など、県民経済の健全な発達と県民生活の向上に寄与するため、新たに「静岡空港」を建設するものです。

静岡空港建設にあたっては、環境との共存を最重要課題として捉え、郷土種による森づくり、森林環境のエコアップ、水辺環境の整備等の自然環境保全対策に取り組んでまいりました。

これまでの公共事業等では、改革を加えた土地の緑化には、生産地を問わず苗木を購入して植栽していました。空港のり面等の緑化には、生産地を積極的に使うことには、地域の植生に変動が起きないようにするために。同じ種類の植物で

も、地域ごとに遺伝子の構造が違うため、別の地域から持ち込んだ同種の植物を植えると、交雑して遺伝子が雜ざり合い、地域ごとの特性が失われてしまいます。郷土種の苗木を利用するため、空港事業用地内に2個所のポット苗生産ブランチを建設し、種子採取区域等を限定し採取した種子から緑化用の苗木生産を行っています。生産したポット苗は、空港本体の盛土のり面を中心に一平方メートルあたり一本の割合で植樹しており、平成十六年度末までに約六十種、約十九万本の植樹を行っています。

さて、空港建設の状況ですが、本体造成工事は順調に進捗しており、平成十六年度末までに全体二六〇〇万立方メートルのうち約七十%の造成工事が完了し、今年度末までには、約八一%まで進めの計画です。この他、空港本体部では滑走路鉢装工事や航空進入灯橋梁工事、アクセス道路では、牧之原金谷ルートの橋梁工事や盛土工事、取り付け道路工事などを予定しております。

また、懸案の用地取得についてですが、昨年十一月末に、静岡空港整備事業について、土地収用法に基づく事業認定申請を行った後、事業認定府である国土交通省中部地方整備局において審査が行なわれましたが、七月五日に事業認定されました。事業認定を受けたことから、平成二十年度中の開港を目指して、着実に取り組みを進めさせていきたいと考えております。

こうした中、本年五月、我が国を代表する航空会社である日本航空グループとの間で、静岡空港の整備・利活用推進に向けた連携について協議が整い、開港時から新規乗入れをはじめ、空港運営会社の立ち上げやリージョナル航空事業の展開等について緊密に協力・連携していくこととなりました。県いたしましても、今後、JALグループの協力もいただきながら、空港経営の民活化、利便性の高い航空路線網の形成や需要開拓などの取組みをこれまで以上に強化・加速させ、四年後の開港に向け競争力のある静岡空港の実現を目指してまいります。

## 第一十六回通常総会開催

### 京都清水寺 森貫主招き記念講演も

第二十六回通常総会を四月二十八日、静岡市葵区のブケ東海静岡において、森本勵国土交通省静岡国道事務所長、府川博明県環境森林部長顧問の大橋正己県議会議員をはじめ、

国、県、関係団体等多数の臨席を得て盛大に開催した。  
予算緊縮の折、本年度は例年実施してきた昼食パーティーを取り止め、午前からの総会とし、総会終了後、一般市民の聴講も呼びかけ京都清水寺森清範貫主の記念講演会も開催した。

予算緊縮の折、本年度は例年実施してきた昼食パーティーを取り止め、午前からの総会とし、総会終了後、一般市民の聴講も呼びかけ京都清水寺森清範貫主の記念講演会も開催した。

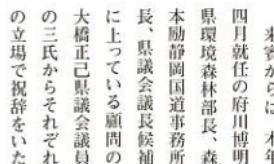
取り止め、午前からの総会とし、総会終了後、一般市民の聴講も呼びかけ京都清水寺森清範貫主の記念講演会も開催した。

も呼びかけ京都清水寺森清範貫主の記念講演会も開催した。

第26回通常総会



あいさつする兼松会長



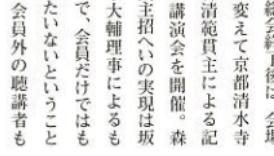
来賓からは、本半



来賓からは、本半



祝辞の森本勵静岡国道事務所長



総会終了後は、会場

を変えて京都清水寺  
森清範貫主による記  
念講演会を開催。森  
貫主招きへの実現は坂  
本大輔理事によるも  
ので、会員だけではも  
つたないということと  
で会員外の聴講者も



祝辞の府川博明県環境森林部長



祝辞の大橋正己県議会議員

だいた。第1号議案

では、入場目標五

百万人を四十五万

人も超えた浜名湖

花博に対する屋

外・屋内出展、緑化

相談所の開設等、浜

名湖花博 P.R.花壇

等設置管理業務委

託、シニアワークプログラム事業

技能講習、緑・花文化知識認定

試験業務等盛り沢山の事業報

告とこれに伴う一億三千万元

余の収支決算が原案どおり承

認された。

第一号議案では、環境対策、

景観対策を考慮した街路樹の

維持管理、屋上・壁面緑化技術

講習会の開催、各地コミニティ

対する協力、協会創立四十周年

記念事業等の事業計画とこれ

に伴う五千四百万円弱の予算

案が原案どおり承認された。予

算の大額減は、花壇整備造管受

託業務が完了したことによる。

緑化の推進、各種調査、設計受  
託業務、パソコン講習会、環境系  
コース高校生の実習受け入れ、  
国、県等の行う緑化関連事業に  
対する協力、協会創立四十周年

記念事業等の事業計画とこれ

に伴う五千四百万円弱の予算

案が原案どおり承認された。予

算の大額減は、花壇整備造管受

託業務が完了したことによる。

加わり、一五〇名余の有意義な  
講演会となつた。

## 会長表彰



京都清水寺 森 清範 貴主

総会の席上、会長表彰を受けられた方々は次のとおり。

○会員又はその代表者  
○(株)土屋造園土木 飯田芳行  
○養樹園

○(株)浮月園 青島 彰

○会員の従業員  
○赤池造園(株)  
○(株)小澤造園  
○(株)三宝園

田辺一郎  
杉山國和 小栗義治



会員表彰を受ける三氏



従業員表彰を受ける三氏

## 受賞者紹介

### 高林孝次氏 みどり園(株)

平成十七年度の優秀施工者国土交通大臣顕彰者、通称「建設マイスター」に西部支部のみどり園株式会社の高林孝次さんが選ばれ、五月三十一日に東京駅伊賀金ホールにおいて顕彰式が挙行され、顕彰されました。おめでとうございます。



高林孝次さんは、三十四年間造園工事一筋、日本庭園から公共工事まで幅広く取り組み、常に環境愛護の精神を持つ技術の向上を目指し、手掛けた工事では民・官を問わず多くの感謝状や優良表彰を受けており、昨年度は優秀施工者知事顕彰の栄誉に輝いています。特に県立森林公園地整備工事、浜北駅前再開発工事、浜松市花川運動公園等では主任技術者として、技術力、監理力を如何なく發揮し、内外より高い評価を得ています。

近年においては、十技術の応用に積極的に取り組み、CA D、データベース通信などを多面的に業務に取り入れて施工の合理化を図っています。また、RCI法の習得に努め剪定枝の資源化、土壤改良への取り組み等を行い、会社のISO取得にも大きく貢献した。

ほ  
の  
日  
記  
念  
日

# 浜名湖フローラフェスタ来年開催 平成十八年四月二十九日から三日間

浜松市村備町で昨年開催された浜名湖花博の跡地「浜名湖ガーデンパーク」を利用し、来年四月に開催するイベント「浜名湖フローラフェスタ」の実行委員会

会が五月二十三日に発足し、浜名湖ガーデンパーク管理センターで第一回会合が開かれた。

同実行委員会は今までキ



浜名湖フローラフェスタ実行委員会



現地視察の実行委員

ど十二の団体で構成。

当日は、北村正平県農業水産

部長のあいさつの後、県花卉園芸組合連合会の池上昭司会長を委員長に選出し、浜名湖フローラフェスタの基本計画に関する話し合いに入り、事務局側から出された計画案について今後、実行委員会で審議していく

改組したもので、  
引き続き実行委員のメンバーである我々の(社)静岡県造園緑化協会や県花卉園芸組合連合会や県経済農業協同組合連合会、静岡新聞社、静岡放送など

このフェスタは、来年四月二十九日を視察した。



木本類が成長して花博時よりよくなつたモネの庭



協賛による花壇整備

八日から三十日までの三日間「花・緑木・新たな暮らしの創造」を

テーマに同所で繰り広げられる。事務局からは、産業振興と消費拡大を柱に、セミナー・ガーデンコンテスト、フラワーアレンジ実演会など、浜名湖花博から引き継いだ施設を利用して各種イベントが提案されたが、屋外展の庭園では三日間の開期では現実的でない等の意見が出され、今後の具体的な詰めが必要となってくる。

今までの「フローラ&ガーデニングフェア」は屋内が会場であったが、今回は屋外も主たる会場となる。造園業界の技量が注目されている。

協議終了後浜名湖花博跡地を再整備し、六月五日にオープニングを控えた県営都市公園これが決まった。

# 炎天下の育成管理巡回指導

## 育成管理巡回指導を終えて

養樹園

長田正義

グリーンバンク事業で施工した緑地の育成管理巡回指導を実施した。これは、過去に施工した緑地が適切に管理されているかどうか現地を巡回して指導するもので、本年度は平成七年度の施工地と十四年度施行地を対象に行い、東部支部十ヶ所、中部支部二十ヶ所、西部支部二十九ヶ所、計五十九ヶ所を対象に梅雨明け直後の炎天下に実施した。設計時点での疑問のある所、管理費がなくて苦労している施設等さまざままで、以下各支部責任者からの報告です。

## 育成管理指導にあたり

富士グリーンメンテナンス(株) 杉山 刚

「巡回指導」という名目で行わ  
れる毎年恒例の育成管理に立合

て毎年思う事が「果たして効  
果があるのだろうか」という事。

てんま保育園(富士市)

富士グリーンメンテナンス(株) 杉山 刚

我々プロの立場からすればお  
世辞にもきれいな樹木管理とは  
いえないのであります。そ  
れで毎年思う事が「果たして効  
果があるのだろうか」という事。

も樹木のためにこうした方  
が、日照不足ですよ、養分が:  
必死に説明してはみるものの、  
なかなか成果はあがらない。  
予算が無いという事は自分達  
で管理をしなければならない、  
それが施設の方の悩みの種。で  
きれば緑なんて無い方がいい、  
と思っている方もいるはず。  
そんな事を思いながら向った

が、予算が無いからなかなか昔さ  
んに依頼するのは難しいけど、木  
は元気にしてます。」

緑とはその施設を豊かにし子  
供を豊かにする。無くてはなら  
ないものだとおっしゃっていた。  
あまり仕事にならないからとい  
つて、育成管理は厭職ではない  
な。大きな視野で見なければ、  
緑を大切にしていく。緑を増  
やしていく。園長先生と子供  
達の笑顔は真夏の太陽より輝  
いて見えた。



総合福祉社会館、養護老人ホーム(焼津市)

この数年、育成指導に参加して  
いるが、今年は2日に渡り10  
箇所の施設を回ったが、あいに  
く台風の日に当たりずぶ濡れの  
指導となってしまった。各市町  
ならびに施設においては、少な  
い予算のうえでできる限り管理  
してくれているが、施肥をもう  
少し行って欲しい施設が数箇所  
見受けられた。鉄砲虫と証され  
るボクタウガ、コスカシバなど  
が、ケヤキやマボウシ、サクラ  
など木についていた。後、草刈は  
早め早めに行ってくれたほうが  
樹木のためであると担当官には  
指導してきたが、それ以上に設  
計や地盤改良により樹木がう  
まく育たなかつたりしている。  
土が悪い故、植えたとき以上に  
生長しない樹木があつたり、南  
洋の樹木を設計に入れている  
が、花の咲いたときはきれいで  
しそうが、そのような樹木はそ  
の土地になじめば大変成長が  
早い故、近くの樹木に悪い影響  
を、あたえるのではないか。よ  
って、育成管理は厭職ではない  
な。大きな視野で見なければ、  
緑を大切にしていく。緑を増  
やしていく。園長先生と子供  
達の笑顔は真夏の太陽より輝  
いて見えた。

それが施設の方の悩みの種。で  
きれば緑なんて無い方がいい、  
と思っている方がいるはず。  
そんな事を思いながら向った



てんま保育園(富士市)



横須賀公園(焼津市)

の定すべての木の先端が枯れている。あと保育園内の園児が通る一メートルくらいの歩道の横につるバラを植えてあった。園

児はまっすぐ歩くと思えないで危険を感じた。今回は、このような感じの巡回指導だった。

## 育成管理巡回指導に参加して

田旗造園建設株式会社 角皆晋也

七月二十七日、台風七号が通

過し、吹き返しの熱風の中で育成管理指導に参加しました。今

年は七年度、十四年度施工現場について行なわれましたが、比較的育成状況が良かったように思います。十年くらい前に参加した頃は、植えたら植えっぱなしで維持管理など全くという程されていない現場ばかりでした。緑のある暮らしや風景を求

めの人達が増えて、植える事に加えて、それを育て維持して行く事に目が向けられて来たという結果だと思います。

しかし、まだ問題がすべて解消したのではなく、現場では色々な声を聞く事ができました。ある施設の管理担当者は、植物の知識もある程度持つお父さんなりに良くしたいと思っているが設備が無いし予算も



白砂公園(御前崎市)



西大渕69・174号線(掛川市)

こんな時に良いと思つて、自分の限界の情報提供と協力をしたいと思いました。

足りないと嘆いていました。

こんな時世の中ではほんのわずかな予算もなく管理を任せられている所が多いようです。それでも工夫して努力している姿を見せられると、思わず「お互いに頑張りましょう」と言いたくなりました。そして自分達はプロとしてより一層ペラアッピングできる限りの情報提供と協力をしたいと思いました。



コミュニティ公園(掛川市)

# 緑・花文化の知識認定試験

(社)静岡県造園緑化協会

主催

開催

会員各位、関係者多数の受験をお待ちしております。

◆試験日時  
平成十七年十一月十三日(日)  
午後二時~午後三時半

◆申込受付期間  
平成十七年七月一日(金)  
~九月十六日(日)

◆受験料  
毎年の全国の受験者数は約一万人。  
内静岡県は三六人が受験しました。

◆受験資格  
この試験は受験して、特級に三分認定された方には「緑・花文化士」の称号が贈られます。全国的には「〇六名が誕生

ります。また半数近頃で誕生しています。まだアカデミックなレベルの高い

◆試験料  
一般(高校生以上)二,〇〇〇円  
子供(中学生以下)一,〇〇〇円

◆試験地  
全国四十七都市

静岡県では掛川市・静岡県総合社会福

祉会館と浜松市・静岡市・沼津市・

◆受験申込書の請求  
試験の中味は、自然・科学と植物、環境

試験の中味は、自然・科学と植物、環境

文化と植物など広範多岐にわたり、極

めて興味深い内容となっております。



本と他のともだちにこう

第7回

## 緑・花文化の知識認定試験

試験日:平成17年11月13日(日)

# 我が社の自慢

## 巨木(メタセコイア)による緑化

(株) 富士見園 望月一三

日本を代表する観光地・伊豆への玄関口の函南町にある県下水道公社

の東部浄化センターの建物があまりにも景観上よくない、何とか修景で  
きないかと相談を受け、静岡文化芸術大学宮川潤次教授と協会川崎専務  
理事が現地を訪れ、「成長するのは待てない、即効性のあるもの」とい  
う要望に、メタセコイアの巨木による緑化とアドバイスによる壁面緑化の  
提案を行い、施工されたもので、施工は会員の(株)富士見園と静山園  
(株)が当たった。内(株)富士見園 望月一三氏よりその苦労話を寄稿  
いただきました。



搬入作業

工事概要  
発注者 静岡県沼津土木事務所  
工期 平成十七年一月二十二日(火)  
平成十七年三月二十五日

下水道課  
(財)静岡県下水道公社  
工事箇所 東部浄化センター内(田方郡  
函南町間宮・塚本地内)  
メタセコイア

この巨木による緑化工事は、  
東部浄化センターの建物(高さ  
十六m、長さ五十m、中三十四)  
が大きく国道三百三十六号線沿  
いに建っているので、地域住民  
や観光客など道路利用者に圧  
迫感を与え、又、伊豆入口部に  
位置する為、旅行者の伊豆への  
イメージを良くするように、景  
観の向上を目的として施工した



橋付け作業(25tレッカ吊り)

施工について  
作業箇所が東部浄化センター  
内の汚泥処理棟からの汚泥搬出  
運搬の出入口付近の為、作業時  
間に規制があり短期間(年度内  
完成)の施工という事で、工程  
管理に苦労しました。



樹高計測 H:12m C:0.75m W:3.0m

メタセコイアの木とは

メタセコイアは、絶滅したとい  
われたところ、千九百四十五年  
中国の四川省で見つけだされ生  
きた化石として有名な木です。  
樹高が二十m以上になり樹皮  
は赤褐色で縦に裂け、枝や葉は  
対生し、秋には葉が赤く色づき  
ます。その葉は落葉性で、難  
能に落葉します。難能同株では花は三月より四月頃に  
開花します。雄花序は黄褐色で  
長く垂れ下がり、雌花は緑色、  
球果は長さ二二五cmぐらい  
の卵状球形で、十月頃成熟して  
褐色になり、種子は倒卵形で幅  
の広い翼があります。



高所作業車使用によるワイヤー支柱施行

ものである。

センターと施設の利用に合わせて、工程打合せを縮密に行い支障の無い様に努めました。又、施設内の為、地下埋設物、支障物等が非常に多く事前に試掘調査、障害物(電線)等の防護に万全をつくし、安全に対しても十分注意をはらいました。

いよいよ、メタセコイアを富士宮築の圃場より搬出する作業に入ったとたん雪が降り積もり、掘り取り作業が思い通り進まず苦労しました。

運搬は、トレーラー車(全長十五m、積載荷重三十トン)で、一台当たり一本が限度でした。

施工前



運搬は、トレーラー車(全長十五m、積載荷重三十トン)で、一台当たり一本が限度でした。

立込み作業は特に慎重に行い、自重により吊り具をあてた幹に圧壊が無い様に、クッション(繩、麻布等)を二重に巻き布帶で吊り、根鉢は平帶(巾十五センチ)で吊り、根鉢が崩れないよう又、樹幹・樹枝等損傷がないよう配慮し植栽を行いました。

立込み作業は特に慎重に行い、自重により吊り具をあてた幹に圧壊が無い様に、クッション(繩、麻布等)を二重に巻き布帶で吊り、根鉢は平帶(巾十五センチ)で吊り、根鉢が崩れないよう又、樹幹・樹枝等損傷がないよう配慮し植栽を行いました。

事前に運搬経路を調査し、夜明けとともに交通支障が起きない様十分注意し運搬しました。

現場搬入後速やかに植栽作業が出来るよう一日の施工数量を決め植え穴掘削、二十五t レッカーでの立込み、ワイヤー支柱等一連の作業を行いました。



施工後



施工後



施工前

立込み作業は特に慎重に行い、自重により吊り具をあてた幹に圧壊が無い様に、クッション(繩、麻布等)を二重に巻き布帶で吊り、根鉢は平帶(巾十五センチ)で吊り、根鉢が崩れないよう又、樹幹・樹枝等損傷がないよう配慮し植栽を行いました。

立込み作業は特に慎重に行い、自重により吊り具をあてた幹に圧壊が無い様に、クッション(繩、麻布等)を二重に巻き布帶で吊り、根鉢は平帶(巾十五センチ)で吊り、根鉢が崩れないよう又、樹幹・樹枝等損傷がないよう配慮し植栽を行いました。

事前に運搬経路を調査し、夜明けとともに交通支障が起きない様十分注意し運搬しました。

現場搬入後速やかに植栽作業が出来るよう一日の施工数量を決め植え穴掘削、二十五t レッカーでの立込み、ワイヤー支柱等一連の作業を行いました。



施工前



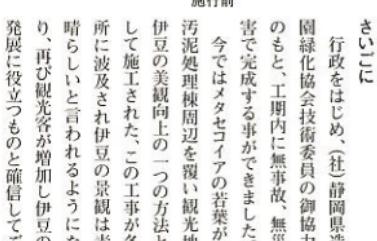
施工後

立込み作業は特に慎重に行い、自重により吊り具をあてた幹に圧壊が無い様に、クッション(繩、麻布等)を二重に巻き布帶で吊り、根鉢は平帶(巾十五センチ)で吊り、根鉢が崩れないよう又、樹幹・樹枝等損傷がないよう配慮し植栽を行いました。

立込み作業は特に慎重に行い、自重により吊り具をあてた幹に圧壊が無い様に、クッション(繩、麻布等)を二重に巻き布帶で吊り、根鉢は平帶(巾十五センチ)で吊り、根鉢が崩れないよう又、樹幹・樹枝等損傷がないよう配慮し植栽を行いました。

事前に運搬経路を調査し、夜明けとともに交通支障が起きない様十分注意し運搬しました。

現場搬入後速やかに植栽作業が出来るよう一日の施工数量を決め植え穴掘削、二十五t レッカーでの立込み、ワイヤー支柱等一連の作業を行いました。



施工後

メタセコイアの自然な樹形を崩さないよう全体を切り縮めず

自然樹形を維持し、内部透かしは余分な体力を消耗しない様に小枝透きとしました。

今ではメタセコイアの若葉が、汚泥処理棟周辺を覆い観光地伊豆の美観向上の一つかつ方法と

して施工された、この工事が各所に波及され伊豆の景観は素晴らしいと言われるようになります。再び観光客が増加し伊豆の発展に役立つものと確信してご報告とします。

行政をはじめ、(社)静岡県造園緑化協会技術委員の御協力のもと、工期内に無事故、無災害で完成する事ができました。今ではメタセコイアの若葉が、汚泥処理棟周辺を覆い観光地伊豆の美観向上の一つかつ方法として施工された、この工事が各所に波及され伊豆の景観は素晴らしいと言われるようになります。再び観光客が増加し伊豆の発展に役立つものと確信してご報告とします。

さいごに

行政をはじめ、(社)静岡県造園緑化協会技術委員の御協力のもと、工期内に無事故、無災害で完成する事ができました。今ではメタセコイアの若葉が、汚泥処理棟周辺を覆い観光地伊豆の美観向上の一つかつ方法として施工された、この工事が各所に波及され伊豆の景観は素晴らしいと言われるようになります。再び観光客が増加し伊豆の発展に役立つものと確信してご報告とします。

行政をはじめ、(社)静岡県造園緑化協会技術委員の御協力のもと、工期内に無事故、無災害で完成する事ができました。今ではメタセコイアの若葉が、汚泥処理棟周辺を覆い観光地伊豆の美観向上の一つかつ方法として施工された、この工事が各所に波及され伊豆の景観は素晴らしいと言われるようになります。再び観光客が増加し伊豆の発展に役立つものと確信してご報告とします。

行政をはじめ、(社)静岡県造園緑化協会技術委員の御協力のもと、工期内に無事故、無災害で完成する事ができました。今ではメタセコイアの若葉が、汚泥処理棟周辺を覆い観光地伊豆の美観向上の一つかつ方法として施工された、この工事が各所に波及され伊豆の景観は素晴らしいと言われるようになります。再び観光客が増加し伊豆の発展に役立つものと確信してご報告とします。

# 造園施工管理技士会だより

会の開催に向けて活発な研修会や視察見学会が計画され、おこなわれました。

そして本年の主な事業計画は、現場の施工監理技術の研鑽に努め、また(社)静岡県造園緑化協会との連携のもと各種の研修講習を開催し県市町村での行なう緑化関連行事への協力を行なうことです。時代の要請に応える技術研修会、講習会など会員の皆様の要望にこたえるにはどのような講習会をもてばよいか…。

さて、県内では緑化関連の大きな行事も終り公共事業の削減で厳しい状況が続き、これからは管理の時代になるのではないかと思われます。県内各地では東海沖地震の発生予知訓練が行なわれています。公園公共施設の管理がより良く管理される事が一般市民が安心して暮らせるのではないでしようか。

平成十五年に指定管理者制度が導入され県市町村では今まで直営もしくは第三セクターにしか任せられなかつたがこれからは管理委託が株式会社や民間団体に任す事が出来る様になりました。現在県、富士市、三島市等では広く公募を行い指定管理者を選定、実行に移しており経費の削減、利用時間の拡大等、利便性が向上したと云われています。

管理の時代に入った現在、もし公園公共施設がすべて一括して指定管理者に委託されないとは限りません。我が町富士川町でも議会に於いて指定管理者制度の導入について一般質問があり公の施設五十一の内四施設が既に管理委託され当面の施設に於いて導入を検討されています。町内には公園七、駐車場三ヶ所がありますが今後はどうなつて行くかと思うと不安です。

各市町村での管理委託がもしなくなれば大変な事になります。この制度を良く理解し利用出来ないものでしょうか。申請の理由の中には現在の業務内容、過去の実績、公園のある地域での活動実績などの関連について触れて下さいとあります。この項目をみても我々の参画が出来るのではないかでしようか。

今後共、地域の活動を積極的に行ない広く造園施工管理技士である我々の人材を認めてもらう様努力する事が必要です。

最後になりましたが紙面をお借りして今後共造園施工管理技士会をよろしくお願い致します。

## 会長あいさつ



会長  
望月 敏彦

会長  
望月敏彦(天野園芸(株))

副会長

小林昌二(有)小林造園

源平 太(源平造園建設(株))

水野 豊(天龍造園建設(株))

常任理事

吉岡愛策(有)吉岡

大石春夫(有)大石造園

川口祐二(田旗造園建設(株))

理事

下山謙一

植松靜夫(株)植松造園建設

大森貞信(有)堀光園

乗山則行(株)東海フォレスト

衛藤徹雄(株)八ヶ代造園

永井慎吾(有)永井造園

安本昌弘(静鉄建設(株))

澤美仁一郎(株)庭(一)

乗松文男(株)キヤブ

監事

中野孝三(株)愛樹園

村田昌弘(有)富士昌造園

岡本 正(株)植助

## 新役員の顔ぶれ

## 第二十回 通常総会だより

静岡県造園施工管理技士会の通常総会が六月三十日、静岡市葵区のブケ東海静岡に於いて開催され、平成十六年度事業報告並びに決算報告、平成十七年度事業計画並びに予算案が原案となり承認された。また、本年は役員改選期であり六期十二年勤めた乗松文男会長のあとを継ぐ望月毅彦新会長が誕生した。総会終了後、「地球修繕請負業」と題して、株環境アセスメントセンター 取締役会長 塩坂邦雄氏による記念講演も開催された。



祝辞の福井昌弘公園緑化室長

会員が減少するなか、本人出席も減少し、委任状が増加の傾向にあり、これも業界の実情を反映しているようだ。

議長に乗松文男会長があたり、第一号議案では、花博会場で実施したガーデンガイドや朝ガーデンツアーや造園施工管理技士受験対策講習会の実施等の事業報告並びに決算報告、設立二十周年を迎えた平成十七年度の事業計画並びに予算案も原案

どおり承認された。

役員改選では、東・中・西の各支部から推薦された役員候補で互選の結果、十二年勤めた乗松会長に代わって望月毅彦副会長が新会長に就任した。新役員の頒ぶれはP10掲載のとおり。

議事終了後、県都市住宅部福井昌弘公園緑地室長から祝辞があり記念講演に移った。

講師の塩坂氏は、国内外での活動を報告した後、「地球修繕を考える時は川が一つの単位」と持論を開闢、「自然は人間を必要としないが、人間は自然を必要とする。もっと謙虚にならなければいけない」と結んだ。

## 特集

### あなたはどういうの管理を選びますか。

地球温暖化とかヒートアイランド現象とか騒がれ、少しでもそれをやわらげよう、屋上緑化や壁面緑化が注目をあびている。しかし、それ以前に街路樹や公園樹木の管理はどうなっているのだろう。まだまだ木陰が欲しい季節なのに強剪定と称して裸同然の剪定が行われる。その理由は慣習があったり、沿線住民の落葉や害虫発生に対する苦情であつたりである。一方では、これから美しい紅葉が見られないじゃないかと剪定に対する抗議があつたり、害虫防除のための農薬散布に対する抗議があつたりで行政はその対応に苦慮しているのが実情である。

#### ●イチョウの巻



三島学園通りの県下No.1のイチョウ並木



冬枯れの姿にも風情がある(同右)



同左のイチョウの夏姿  
緑陰効果は期待できない



毎年同じところで剪定すると  
このようになる。主枝の数  
が少なすぎる。まるで骸骨  
が立っているよう。却て都  
市景観を悪くしている。



空中ケーブルがあるにもかかわらず丁寧に剪定されたイチョウ並木の冬姿

# 話題の森

昨年開催された浜名湖花博の会場跡地に県が整備していった県営都市公園「浜名ガーデンパーク」が五月五日、知事や関係者、地元の児童生徒ら多数参加して開園した。思えば、昨年の今頃は、出展庭園の管理、植え替え、屋内出展、土・日曜日の庭園ガイド、運日の庭造り・緑化相談所の開設と多忙極まりなかつた。来年の四月二十九日からはこの会場で静岡県で初めてのフラワーフェスティが開催される。造園業界・花卉園芸業界の活躍が期待されている。



## 浜名湖ガーデンパーク開園

浜名湖花博の跡地を利用した県営都市公園「浜名ガーデンパーク」(浜松市村橋町)が五日、開園した。

同園管理センターによると、初日の入場者数は

二万五千五百人。午前中

ストは、「今後も呼び物として続けていきたい」と

した上で、「公園はまだ

完成形ではない。県民と

協働でアイデアを付け加えていく」と抱負を述べた。

開園宣言の後、公園を

支えていくボランティア

「浜名湖ガーデンパーク

フレンズ」の小、中学生

屋外ステージで開かれ

た開園式には、三百二十

人の招待者のほか、大勢

の大拍手がわき起こつ

た。

公園は総面積五十六

ha。浜名湖花博の既存設

備や庭園を利活用し、庭園と園芸の魅力を引き出

した。入園無料。

巨大なクラッカーを鳴らして祝福した  
開園式! 浜松市村橋町の浜名湖ガーデンパーク

●環境・森林・フェア開催  
十月七日(金)から九日(日)の三日間、環境や森林・林業・緑化に関する製品や技術を一堂に集めた展示会第二回「おか花祭」、森林フォアが静岡市駿河区山田の斐伊シヤンヌセ静岡で開催されます。  
(社)静岡県造園緑化協会と静岡県造園施工管理技師会も出展します。多数の来場をお待ちしております。

開年のことながら発行が遅れ、夏暑といひながら初秋の九月となってしまいました。

本号は、県の下水道施設の巨木による緑化やグリーンバンク施工による公共緑地の維持管理巡回指導など原稿をたくさんいたしました。お陰様で充実した内容となりました。

次号は秋号で十月下旬発行予定です。我が社の自負、支部規章行事等会員の皆さんからの投稿をお待ちしております。

平成17年6月6日 静岡新聞